

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年02月03日

計画の名称	倉敷市阿知3丁目東地区のにぎわいの再生と住環境の向上（Ⅱ期）												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	倉敷市												
計画の目標	倉敷市の玄関口および美観地区周辺にふさわしい賑わいのあるまちづくりを行うとともに、倉敷一番街商店街の再生に寄与する。 建築物の耐震化や防火対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,018	A	7,018	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28)	中間目標値 (H31)	最終目標値 (H33)
1	本地区周辺の歩行者通行量を874人/日（平成28年度）から1,100人/日（平成33年度）に約25%増加させる。 歩行者通行量：隣接する倉敷一番街商店街の歩行者通行量 毎年夏季の日曜日に実施している歩行者通行量調査の数値	874人/日	人/日	1100人/日
2	本地区の都市機能を再生し、居住者人口を約90人（平成28年度）から約500人（平成33年度）に増加させる。 居住人口：住民基本台帳等において確認できる本地区の居住者数	90人	人	500人
3	本地区の建物の不燃化率(建築面積ベース)を14%（平成28年度）から100%（平成33年度）にする。 地区不燃化率：登記簿等において確認できる本地区の建物の非木造率 非木造建築物建築面積/建築物総建築面積	14%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	H32	H33				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	再開発	一般	倉敷市	間接	再開発組合	—	—	倉敷市阿知3丁目東地区 第一種市街地再開発事業	商業、住宅等 1.7ha	倉敷市	■	■	■	■	■	7,018	1.07	—	
											小計						7,018			
											合計						7,018			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	73				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	73				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	51				
翌年度繰越額 (f)	22				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 倉敷市阿知3丁目東地区のにぎわいの再生と住環境の向上（Ⅱ期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦地元の機運	

